

# 東日本大震災

名古屋って、あったかくて、いいまちだなあ。

寄り添い、ゆっくりと、でも全力で応援します。



# 被災者支援ボランティアセンターなごやお知らせ

令和4年3月25日発行 (第136号)

本お知らせは、名古屋市に避難されてきた方に役立つ情報をお伝えするため、隔月25日に発行しています。みなさんのご意見・ご感想をお待ちしています

発行：東日本大震災被災者支援ボランティアセンターなごや  
〒462-8558 名古屋市北区清水4-17-1 5階  
名古屋市社会福祉協議会 ボランティアセンター内  
電話：070-5587-7153(平日9~17時)

Spring Spring Spring Spring



FAX:052-917-0702

Eメール shien-vc@nagoya-shakyo.or.jp

すっかり暖かくなり、間もなく桜も満開となりそうですね。日本で数多くみられるソメイヨシノ、これは1本の本が原木となり、すべて接ぎ木して増やされた「クローン」だそうです。一斉に咲いて、一斉に散っていくのは同じ遺伝情報を持つクローン故なのかもしれません。ちなみに、諸説ありますが、原木は東京の上野公園に存在しているといわれています。

## 令和4年度

## 東日本大震災被災者支援ボランティアセンターなごや



令和3年度も大変お世話になりました。

令和4年度も3年度と同様の体制です。皆さん、どうぞよろしくお願ひします！

3年度は、昨年より多く皆さんのお宅を訪問させていただくことができました。4年度も、皆さんの状況をお伺いすべく、ご連絡させていただくこともあるかと思ひます。

引き続き、よろしくお願ひいたします。



<体制> ◆時間 平日9時~17時 (土日祝日と年末年始は休み)

◆電話 070-5587-7153



◆ウェブサイト <https://www.nagoya-shakyo.jp/higashinohon/vc.html>

(毎月のご相談件数や「お知らせ」などを掲載しています)

<事業>

- ◆「お知らせ」発行……………2か月に1回
- ◆「お茶っこサロンなごや」開催……………年1~2回
- ◆相談受付……………随時
- ◆語り部事業……………随時



センターには、様々なご相談が寄せられています。お気軽にご相談ください♪

### 「革工芸の会」

被災者支援ボランティアセンターまで事前にお申し込みください。

革細工(レザークラフト)をボランティアさんに教えてもらいながら行います

日時：令和4年4月12日・19日 5月10日・31日 全て火曜日 10時15分~12時

会場：名古屋市総合福祉会館6階 録音編集室

(北区清水四丁目17-1 北区役所内)

持ち物：はさみ(よく切れるもの)、あればラジオペンチ

材料費：1回500円~(実費相当)

# 語り部通信

No. 1  
Date . . .

◎ 2月6日(日) 名古屋市災害ボランティアコーディネーター養成講座にて

養成講座の受講者 30 名ほどに向けて A さんから福島県での被災体験について語っていただきました。A さんの語り部活動は今回が初めてでしたが、被災者支援 VC スタッフとのディスカッション形式で実施することにより、すらすらとお話していただくことができました。

◎ 2月20日(日) 緑区黒石学区での避難所開設訓練にて

学区ごとに行われている避難所開設訓練で訓練後に 30 分程度の語り部活動をする予定が、コロナ禍の影響拡大により、訓練が中止になりました。しかし、関心の高かった語り部のお話に 1 時間ほどお時間を頂けました。避難所生活の様子を伺いたいとの依頼でしたので、語り部に登録されている方の中から避難所利用の経験がある方を派遣させていただきました。被災者支援 VC スタッフとのディスカッション形式で実施し、参加者の方からもたくさんの感想、質問をいただきました。

◎ 3月15日(火) 守山区の老人クラブのサロンにて

当日の参加者は 15 名。すべて女性の方でした。今回活動を依頼した C さんは、以前から語り部として活動をされている方でしたので、全てお任せしてしまいましたが、ご自身の経験を上手にお話していただきました。避難生活と、新幹線が動かない中、名古屋まで来る道のりは緊張感のあるお話で参加者の方から「よく名古屋に来てくれた」とお声がけいただきました。

みなさまの語り部へのご参加お待ちしております！